

KENWOOD

MDV-D503W MDV-D503

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

安全上のご注意.....	4	地図データのバージョンアップ情報はこちらへ	
使用上のご注意.....	7	地図更新について.....	38
電源を入れる / 切る.....	9	ドライブレコーダーまたは ETC 車載器を接続したときの 設定についてご確認ください	
ディスク、SD カード / miniB-CAS カードの出し入れ、 パネル角度調整をする		ドライブレコーダーを使う	39
パネルの操作	9	ETC を使う	39
パネルにあるボタンの機能		リアビューカメラを接続したときは設定が必要です	
各部の名称とはたらき	11	リアビューカメラを使う	40
画面、リスト共通の操作		本機対応の別売品について	
画面 / リストの操作.....	12	別売品について.....	41
すべての機能はこの画面から始まります		付録	
HOME 画面の構成.....	12	メディアおよびファイルについて.....	42
よく使う地点や設定画面のショートカット集をつくる		自車位置の測位精度について	44
マイメニュー	13	地図のデータベースについて	45
アンテナ伸縮、案内音量調整、画面消灯をする		ソフトウェア使用許諾契約書	46
画面コントロールメニュー	13	VICS について	48
ナビを使っているときに表示される情報		iPod について	50
地図の見かたと操作.....	14	Bluetooth について.....	50
目的地まで道案内をさせる		故障かなと思ったら.....	51
ナビゲーション.....	17	商標.....	54
ナビが使いやすいように設定する		主な仕様.....	56
情報・設定	21	地図記号の凡例.....	58
設定データ保存.....	24	保証とアフターサービス.....	59
接続状態を確認する.....	25		
音楽やビデオを楽しむ			
AV 操作.....	26		
音楽 CD を SD カードに録音する.....	32		
本機で Bluetooth 機器を使う			
Bluetooth 機器を使う	34		
映像の画質を調整します			
画質を調整する.....	38		

ナビゲーションシステムの使い方について

取扱説明書

ナビの機能を使いこなそう!

本書の取り扱い情報は以下になります。

取扱説明書（本書）
取付説明書（同梱）
取扱説明書＜詳細版＞（PDF版）

本書では基本的な操作について説明しています。
詳細な操作方法については取扱説明書＜詳細版＞
（PDF版）を以下のホームページよりダウンロード
してご覧ください。



<http://manual.kenwood.com/edition/2016ld/mdv.html>

サポート情報を役立てよう!

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせ内容を掲載
しています。

ホームページ

FAQ(よくあるご質問)

お客様からのよくあるお問い合わせや
ご質問への解決方法を掲載しています。
本書の「故障かなと思ったら」と合わせ
てこちらもご覧ください。



<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>

本機の最新情報について

本機をより便利に使っていただくために、地図更新、ファームウェア
のバージョンアップ情報など、当社ホームページに掲載しています。



<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>
お使いの型名をクリックすると、情報が表示されます。






安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするすと車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

**作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す**

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について **警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

使用方法について

警告



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.51)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を強くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。(→ P.13)

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。

- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。

- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。

- 細街路を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐車中

*: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。

[▲] (オープンキー) を押すとフロントパネルが閉じます。

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、**[▲]** (オープンキー) でフロントパネル操作画面を表示して再度操作してください。

フロントパネルオープン時動作について

ソースがTUNERのときにフロントパネルを開くとTUNERソースの音声は消音されます。パネルを閉じると消音は自動で解除され音声は聴こえるようになります。

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合には、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去は、「システムの初期化」(→ P.24)で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去／解除してください。

● 暗証番号の解除

● SDカードに録音したデータ

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10m です。

□ □ □ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

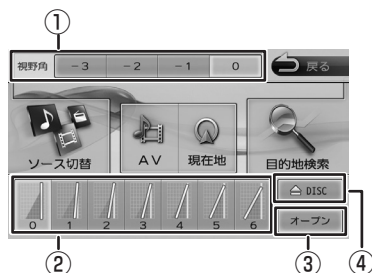


- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- SDカードへの録音中は電源をオフしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

パネルの操作

フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れをします。

- 1 電源を入れてフロントパネルの【▲】（オープンキー）を押す
- 2 設定する項目にタッチする



① 視野角の調整

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角（[-3] ~ [0]）にタッチして調整します。

② フロントパネルの角度調整

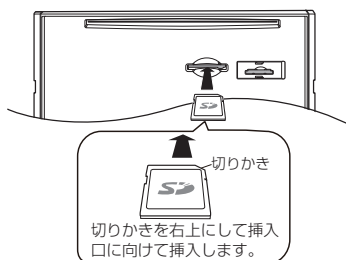
光の反射などで画面が見づらい場合などや、ドライブポジションから見やすいようにフロントパネルの角度（[0] ~ [6]）を調整します。

③ SDカードの出し入れ

SDカードを出し入れするときに【オープン】にタッチします。

タッチするとフロントパネルが開きます。

SDカードを入れるときは突き当たるまで奥に差し込んで入れてください。



挿入したらフロントパネルの【▲】（オープンキー）押してパネルを閉じます。

SDカードを出すときは、フロントパネルの【▲】（オープンキー）押して、【オープン】にタッチしてパネルを開いて、SDカードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

miniB-CAS カードをセットする

miniB-CAS カードをセットするときに [オープン] にタッチします。
タッチするとフロントパネルが開きます。

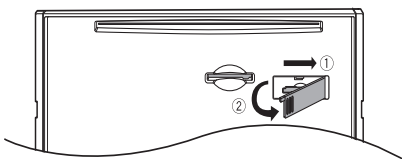
- miniB-CAS カード挿入口に miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- miniB-CAS カードを差し込むときに IC (集積回路) 接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。



- miniB-CAS カードは、正しい向きで差し込んでください。向きが間違っていると、カードが機能しません。
- フロントパネルを閉じるときにフロントパネルに触れると、安全装置がはたらき、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルを開いたままで電源をオフ (ACC オフ) にすると、フロントパネルが開いたままの状態です電源が切れます。停止してから電源をオフにしてください。

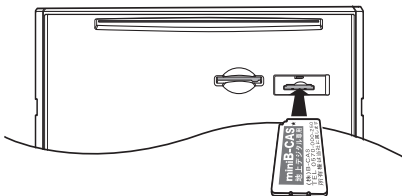
1 カバーを右にスライドして (①)、カバー左端を手前に引いて (②) 取り出す

[▲] (オープンキー) に触れないように注意してください。触れるとフロントパネルが閉じてしまいます。

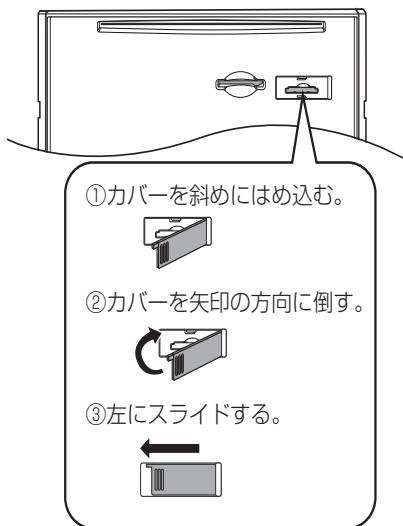


2 IC (集積回路) 接触端子のある面を下にして、miniB-CAS カードを差し込む

miniB-CAS カードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。



3 ①~③に従ってカバーを取り付けます。



フロントパネルの [▲] (オープンキー) 押してパネルを閉じます。

miniB-CAS カードを取り出すときは、フロントパネルの [▲] (オープンキー) を押してフロントパネルを開きます。
カバーを右にスライドしてカバー左端を手前に引いてカバーを取り出します。
miniB-CAS カードをいったん押し込んで引き抜きます。
カバーを取り付けます。



- カバーは必ず左にスライドして閉じてください。左にスライドしておかないとカバーが外れて本機の内部に入り、故障の原因となります。

④ディスクの出し入れ

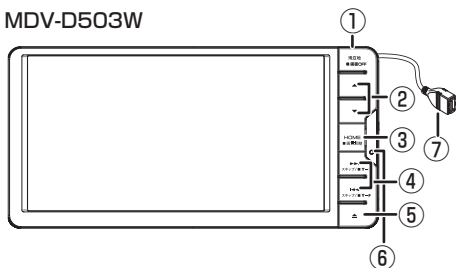
ディスクを出し入れするときは [▲ DISC] にタッチします。タッチするとフロントパネルが開きます。ディスクを挿入するとパネルは自動で閉じます。

ディスクを取り出すときは [▲ DISC] にタッチするとフロントパネルが開いてディスクが排出されます。
ディスクを取り出したら [▲] (オープンキー) を押して、パネルを閉じてください。

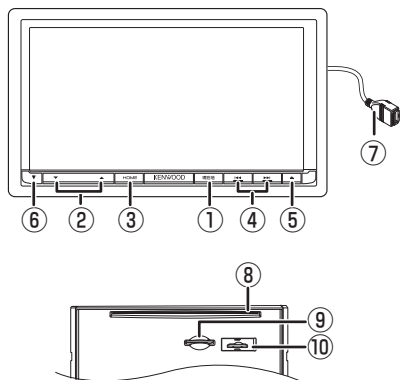
- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。

各部の名称とはたらき

MDV-D503W



MDV-D503



① 【現在地】

- ・ 現在地図画面を表示します。(→ P.14)
- ・ 押し続けると、画面の表示をオフにします。

② 音量キー

AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。



- ・ 【▲】 を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ・ 案内音量は画面コントロールメニューで調整します。(→ P.13)

③ 【HOME】

- ・ HOME (ホーム) 画面を表示します。(→ P.12)
- ・ 押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。(→ P.13)

④ スキップ / サーチキー

- ・ ラジオ、地デジ：
放送局を切り替えます。
押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- ・ 音楽 / ビデオ再生：
前 / 次の曲、ビデオ、またはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。

⑤ 【▲】 (オープンキー)

フロントパネルの角度調整やディスクの出し入れを行うためのメニューを表示します。操作方法については 9 ページをご覧ください。

⑥ セキュリティインジケーター

セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。(→ P.24)

⑦ USB 端子

USB 機器 (→ P.28) または iPod/iPhone (→ P.27) を接続します。

⑧ ディスク挿入口

ディスクを挿入する場所です。挿入方法については 10 ページをご覧ください。

⑨ SD カード挿入口

SD カードを挿入する場所です。また、地図更新データ用 SD カードを挿入します。挿入方法については 9 ページをご覧ください。

⑩ mini-BCAS カード挿入口

miniB-CAS カードを挿入する場所です。挿入方法については 10 ページをご覧ください。

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

[戻る] にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の2つの方法があります。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。

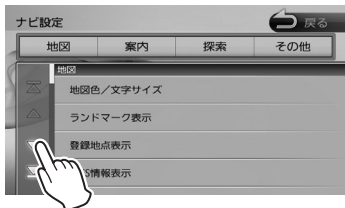
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



- リストをページ送りする。

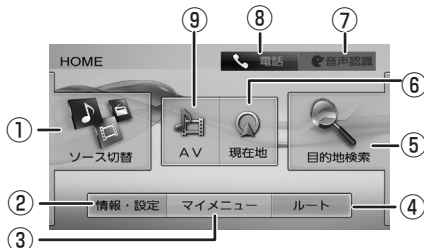
送りたい方向の [△] [▽] にタッチします。



[△] [▽] にタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

HOME 画面の構成

HOME (ホーム) 画面は、本機を使うためのスタート地点です。HOME 画面は フロントパネルの [HOME] を押すと、いつでも表示できます。



① ソース切替

ソース切替画面が表示されます。(→ P.26)

ソース (音源) の切り替えができます。

ソース切替画面は HOME 画面を、右にフリックしても表示できます。

② 情報・設定

情報・設定画面が表示されます。(→ P.21)

VICS 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

③ マイメニュー

マイメニュー画面が表示されます。(→ P.13)

よく使う設定や機能を登録して呼び出すことができます。

④ ルート

ルート画面が表示されます。(→ P.19)

探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルート編集ができます。

⑤ 目的地検索

目的地検索画面が表示されます。(→ P.17)

行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。

目的地検索画面は HOME 画面を、左にフリックしても表示できます。

⑥ 現在地

現在地図画面が表示されます。(→ P.14)

⑦ 音声認識

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

⑧ 電話

電話画面を表示します。(→ P.37)

⑨ AV

選択しているソースの AV 画面が表示されます。

マイメニュー

よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 [マイメニュー]にタッチする



マイメニュー画面が表示されます。

- 3 呼び出したいショートカットボタン
または特別メモリ地点ボタンにタッチする



ショートカットボタン

ボタンに登録してある機能を実行します。

特別メモリ地点

グループ「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」に設定した登録地点を呼び出します。

編集

ショートカットボタンに登録してある機能の変更や登録していないショートカットボタンへ機能を登録できます。

[編集] にタッチして変更または登録したいボタンにタッチするとリストが表示されます。割り当てたい機能にタッチするとボタンに登録されます。

画面コントロールメニュー

画面の明るさや案内音量調整などを行う画面を表示します。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押し
つづける
画面コントロールメニューが表示されます。
- 2 設定する項目にタッチする



アンテナを伸ばす / アンテナをしまし

オートアンテナが「あり」に設定されていると表示されます。(→ P.23)

オートアンテナを伸ばしたり、しまったりします。

ドライブレコーダー

別売のドライブレコーダーを接続しているときに、「EXP コネクター接続」が「ドライブレコーダー」に設定されていると表示されます。(→ P.39)

タッチするとドライブレコーダーの映像を表示します。

画面オフ

画面の表示を消します。

消しているときに画面にタッチすると画面を表示します。

明るさ

画面の明るさを調整します。

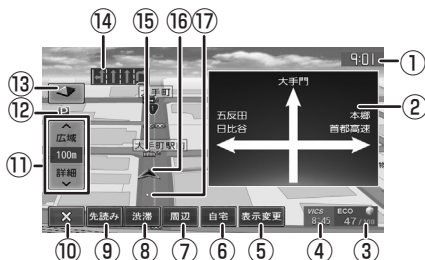
案内音量

ルート案内などの案内音量を調整します。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

本機のHOME画面で「現在地」にタッチする、またはフロントパネルの【現在地】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① 時計

現在の時刻が24時間表記で表示されます。本機はGPS電波を利用して自動で時刻を調整します。

② 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

③ エコドライブ評価

④ VICS 情報提供時刻

VICS情報の提供時刻が表示されます。

⑤ 【表示変更】：地図の表示方法を設定します。

⑥ 【自宅】：自宅へ帰るルートを探します。

⑦ 【周辺】：周辺の施設を検索します。

⑧ 【渋滞】：VICS情報画面を表示します。

⑨ 【先読み】：ルート案内中に先読み案内ガイドを表示します。詳細は16ページをご覧ください。

⑩ 【X】：⑤～⑨を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると⑤～⑨を表示します。

⑪ 【広域】 / 【詳細】

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。

⑫ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。タッチすると施設名、距離、方向が表示されます。

ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニ/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m以下のスケールで表示されます。その他のランドマークは200m以下のスケールで表示されます。

⑬ (コンパスボタン)

地図の方位が表示されます。


タッチするたびに、地図の向きを「3D」（進行方向が画面の上になる3D地図）、「2D ノースアップ」（地図の北が画面の上になる2D地図）、「2D ヘディングアップ」（進行方向が画面の上になる2D地図）に切り替えることができます。

⑭ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑮ 案内地点

：方面看板の案内地点が表示されます。

：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑯ 自転車マーク

⑰ 走行軌跡

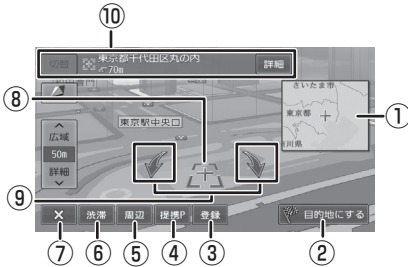
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示を消すことや、データを消去することもできます。(→ P.21)



- ・現在地図画面で【現在地】を押すと画面上部に地点情報を表示します。

スクロール地図画面の見かた

現在地図画面の地図の部分にタッチ、ドラッグ、フリックすると、地図を動かすことができます（スクロール地図画面）。スクロールした後にフロントパネルの【現在地】を押すと現在地図画面に戻ります。



① フライビューマップ

スクロールした地点を広域地図で表示します。

② 【目的地にする】: この地点を目的地に設定します。

③ 【登録】: この地点を登録します。

④ 【提携 P】: 地点に提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

⑤ 【周辺】: 周辺の施設を検索します。

⑥ 【洗滞】: VICS 情報画面を表示します。

⑦ 【X】: ②～⑥を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると②～⑥を表示します。

⑧ [カーソル]

地図画面の中心点に表示されます。

⑨ 地図回転ボタン

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

⑩ 地点情報

カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

【切替】:

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

【詳細】:

地点詳細情報を表示します。
携帯電話またはスマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。

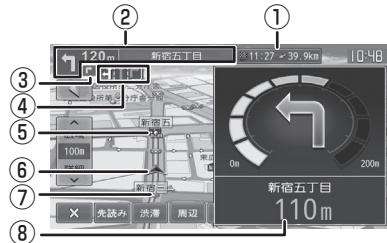
ルート案内中画面の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。タッチすると、対象の行き先が切り替わります。

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ レーン情報表示

白色矢印: 案内レーン
水色矢印: 推奨通過レーン

⑤ 案内ポイント

⑥ 自車位置マーク

⑦ 案内ルート

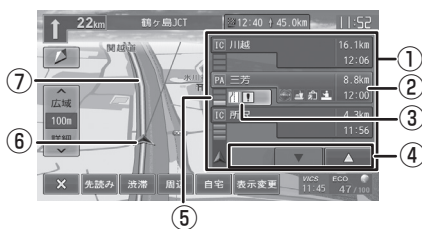
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。

⑧ 案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここでは案内、交差点案内図、または高速分岐イラストが表示されます。割り込み表示は画面にタッチすると消すことができます。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

案内ポイントに近づくと、ここです案内、または高速分岐イラストが表示されます。

② 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT) / サービスエリア (SA) / パーキングエリア (PA) の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

③ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICS 情報規制表示) が3件までマークで表示されます。

マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。スクロールすると [現区間] が表示されます。[現区間] にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。

橙色：混雑
赤色：渋滞

⑥ 自車マーク

⑦ 案内ルート



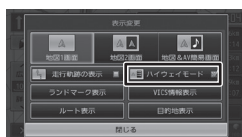
- ・ハイウェイモード画面は、高速道路を走行中に表示されます (ルート案内中以外でも表示されます)。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■ ハイウェイモード画面を閉じる

1 [表示変更] にタッチする



2 [ハイウェイモード] にタッチしてチェックを外す



もう一度タッチしてチェックを付けるとハイウェイモード画面を表示します。

案内先読みガイド表示

[先読み] にタッチすると「案内先読みガイド」が表示されます。次の案内ポイントから目的地までの最大99案内ポイントを見ることができます。

1 [先読み] にタッチする



案内先読みガイドモード画面が表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると案内ポイントもスクロールします。見たい案内ポイントをタッチすると案内ポイントの地図に切り替わります。

② [非表示] : 案内先読みガイド (①) を消します。

③ [戻る] : 案内先読みガイドモードからルート案内画面に戻ります。

ナビゲーション

ナビゲーションの流れ

ナビゲーション機能の使用方法を流れに沿って説明します。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME画面が表示されます。
- 2 【目的地検索】にタッチする



目的地検索画面が表示されます。

3 目的地を検索する



名称

施設の名称で行き先を探します。さらにエリア指定やジャンルで絞り込んで行き先を探すこともできます。
名称で行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は18ページをご覧ください。

ジャンル

食事や買い物などジャンル、エリアを指定して行き先を探します。
ジャンルで行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は18ページをご覧ください。

登録地点

本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（→ P.19）

自宅

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。
あらかじめ自宅の登録が必要です。（→ P.19）

住所

住所から目的地を探します。

履歴

いままでにルートを探した行き先から探します。

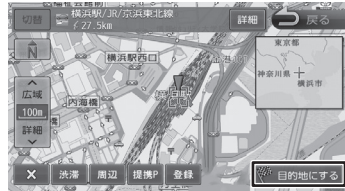
番号

電話番号、郵便番号またはマップコードを入力して行き先を探します。

まっぶるコード

まっぶるコードで探します。

4 【目的地にする】にタッチする



ルート探索が始まります。



- 目的地を設定している場合は、[経由地にする] も表示されます。タッチすると経由地として設定されます。

5 ルートの探索条件にタッチする



【推奨】

本機が推奨するルートです。

【距離】

走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【高速】

高速道路を優先的に通るルートです。

【一般】

一般道路を優先的に通るルートです。

【高速 / 距離】

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【全行程】

すべての条件でルートを探します。各条件のルートと比較することができます。

【ルート情報】

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。



利用するインターチェンジを変更します。
有料道路を使用するときに表示されます。

6 [案内開始] にタッチする



ルート案内が開始されます。

ルート案内中の画面は 15 ページ、16 ページをご覧ください。

ルート案内の中止 (終了) (→ P.18)

や再探索はルート画面で行います。

(→ P.19)



- 本機ではスマートフォンアプリケーション「NaviCon」と連携すると「NaviCon」で設定した地点を本機で行き先として設定することができます。詳細については当社ホームページ <http://manual.kenwood.com/edition/2016ld/mdv.html> をご覧ください。

■ 名称またはジャンル検索の操作

名称、ジャンル検索をした場合は、以下の操作を行ってから 17 ページの手順 4 に進んでください。

1 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。



[リスト]:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

2 [このピンを選択] にタッチする



17 ページ手順 4 へ

案内を終了する

ルート案内中に案内を終了します。

1 フロントパネルの [HOME] を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [ルート] にタッチする



ルート画面が表示されます。

3 [案内終了] にタッチする



ルート編集

ルートの編集ができます。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 [ルート] にタッチする



ルート画面が表示されます。

- 3 項目にタッチする



再探索

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

到着順変更

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

ルート表示

ルートの全体地図と情報を表示します。



[ルート情報] :

ルート上にあるインターチェンジ、道路の名称、距離などの情報を表示します。

[デモ走行] :

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

目的地表示

目的地、経由地付近の地図を表示できます。

自宅または地点を登録する

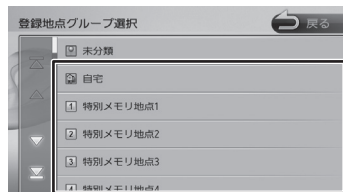
地点を本機に登録することができます。

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。
地点は 300 件まで（自宅を含む）登録できます。

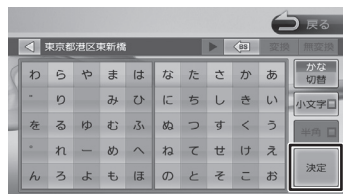
- 1 自宅の場所または登録したい地点にカーソルを合わせて、[登録] にタッチする



- 2 自宅の場合は [自宅] にタッチする
それ以外の場合は登録先のグループにタッチする



- 3 [決定] にタッチする



この画面で名称を編集することができます。文字の入力方法は 20 ページをご覧ください。



- 名称は、後からでも編集することができます。（→ P.20）
- 自宅を変更したいときは、新しく自宅を登録します。登録すると確認メッセージが表示され [はい] にタッチすると自宅が変更されます。先に自宅として登録されていた地点は「未分類」グループに変更されます。
- グループの「自宅」、「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」は、それぞれ 1 か所のみ登録できます。

地点情報を編集する

登録した地点の名称、電話番号、グループを編集します。自宅は名称と電話番号を編集することができます。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 【目的地検索】にタッチする



目的地検索画面が表示されます。

3 【登録地点】にタッチする



登録地点リストが表示されます。

4 編集したい項目にタッチする



【編集】：

登録地点の名称、グループ、電話番号が変更できます。タッチしたあとに編集したいグループを選んで、地点を選び編集したい項目にタッチして編集してください。

【グループ名変更】：

グループ名を変更できます。タッチしたあとに変更したいグループを選んで編集してください。

【アイコン変更】：

グループのアイコン（地図に地点が表示されたときのアイコン）を変更できます。タッチしたあとに変更したいグループを選んでアイコンを選んでください。

【削除】：

地点を削除できます。タッチしたあとに削除したい地点を選んでください。



- 名称、グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。
- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1～5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。

■ 文字の入力方法



【切替】：

タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数 / 記号に切り替わります。

【小文字】：

小文字に切り替わります。

【半角】：

半角英数文字または記号に切り替わります。

【変換】：

入力した文字を変換します。タッチすると変換候補リストが表示されます。変換したい文字にタッチします。

【無変換】：

入力した文字を変換せずにそのまま表示します。

【決定】：

入力した文字を決定します。

【BS】：

押しつづけると、入力した文字列が全消去されます。

◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して [BS] にタッチすると文字を消すことができます。

情報・設定

情報・設定画面

情報・設定画面では、FM VICS、ETC などの情報表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [情報・設定] にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

3 項目にタッチする



VICS

FM VICS 情報を表示します。

接続

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.25)

バージョン

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。

ETC

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。

ECO

エコドライブ情報を表示します。

ナビ

ナビゲーションに関する設定を行います。

サウンド

バランスやイコライザーなどサウンドに関する設定を行います。(→ P.22)

Bluetooth

Bluetooth に関する設定を行います。(→ P.23)

システム

システムに関する設定を行います。(→ P.23)



・* : お買い上げ時の設定です。

ナビ設定

● 地図

地図の表示に関する設定ができます。

項目	設定
地図色 / 文字サイズ	地図色 : 1*/2 文字サイズ : 小 / 中 / 大* 地図色昼夜切替 : 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*
ランドマーク表示	表示したい項目にタッチしてチェックマークを付けます。表示しない場合はもう一度タッチしてチェックを外してください。[表示オフ] にタッチするとチェックが付いている項目も含めて表示しません。
登録地点表示	
VICS 情報表示	
自転車マーク	▲*/●/○
走行軌跡の表示	ON*/OFF
走行軌跡を消去	本機に記憶されている走行軌跡を消去します。
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
フライビューマップ表示	ON*/OFF (→ P.15)
100m 縮尺での市街地図表示	OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。ON*/OFF

● 案内

ルート案内に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声の音量	1 ~ 10* ~ 20
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF 車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF
ルート案内音声の出力	ON*/OFF
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF / ルート案内時のみ ON / 常に ON*
ETC 音声の出力	ON*/OFF
ETC 料金の表示	ON*/OFF
レーン情報の表示	ON*/OFF
方面看板の表示	ON*/OFF

つづく→

項目	設定
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF
交差点案内図の表示	ON*/OFF
ここです案内表示	ON/ 一般道のみ ON*/OFF
ETCレーンの表示	ON*/OFF
AV 画面時の地図割り込み	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。ON*/OFF

● 探索

ルート探索に関する設定ができます。

項目	設定
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離
道幅の広い道路	優先しない / 優先する* / 最優先する
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*
フェリーを利用した探索	ON/OFF*
最適時間を考慮した探索	ON*/OFF

● その他

現在地修正や更新用の SD カードの作成ができます。

項目	設定
現在地修正	自転車位置や向きがずれたときに、地図上の自転車位置と向きを修正します。
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。
オービス更新プログラム	オービスデータの更新用の SD カードを作成します。

サウンド設定



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリーの発信、着信、通話中、または音声認識機能を使用しているときにサウンド設定はできません。

項目	設定
リスニングポジション	リスニングポジションを設定します。
イコライザー	音質を設定します。
バランス / フェーダー	左右 / 前後の音量バランスを設定します。
Drive Equalizer +	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。ON*/OFF
ラウドネス	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。OFF*/LOW/HIGH
バスブースト	低音を増強するレベルを設定します。OFF/LEVEL1*/LEVEL2/LEVEL3
スペースエンハンサー	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。ソースが“TUNER”のときは設定できません。OFF*/SMALL/MEDIUM/LARGE
サウンドライザー	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置 (高さ) を設定します。OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH
リアライザー	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。OFF/LEVEL1*/LEVEL2/LEVEL3
サブリーム	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。ON/OFF*
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。 +5 ~ 0* ~ -5

Bluetooth 設定



- Bluetooth 機器の登録（ペアリング）は 34 ページをご覧ください。

項目	設定
Bluetooth	Bluetooth 機能をオン / オフします。オフにすると確認メッセージが表示されます。 ON*/OFF
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。
PIN コード	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。
ナビのデバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。
ナビのデバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	オートペアリング機能を設定します。ON*/OFF
着信の自動応答	着信時に、自動的に通話可能になります。 ON/OFF*

システム設定項目

● AV

録音音質の設定や SD カードの初期化など AV に関する設定ができます。

項目	設定
録音音質	標準 (128kbps)* / 高音質 (256kbps)
残り録音可能時間	残りの録音可能時間を表示します。録音可能時間は、SD カードを本機に挿入しているときに表示されます。
SD カード初期化	SD カードを初期化します。SD カード内のすべてのデータが消去されます。
iPhone との接続方法	iPod ソースを使うときの iPhone または iPod touch の接続方法を設定します。 USB*/Bluetooth

● 音量

音声案内時の AV 音量など、音量に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる* / 消音
リバース時の AV 音量ダウン	車両をバックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。ON*/OFF
スターターボリューム	動作しない*/更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅

● 表示

画面の明るさなど表示に関する設定ができます。

項目	設定
画面の明るさ	イルミOFF：-5~+5* イルミON：-5~+1* ~+5
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON*/OFF

● 車両

車両ナンバーやリアビューカメラなど車両に関する設定ができます。

項目	設定
車両ナンバー	軽 / 5・7*/3/1
オートアンテナ	オートアンテナを装着しているときに設定してください。(→ P.13) あり / なし*
リアカメラ接続	リアビューカメラを接続したときに設定してください。 なし* / 汎用カメラ / 専用カメラ (コントロール機能付) (→ P.40)
リアカメラ調整	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。(→ P.40)
EXP コネクター接続	ドライブレコーダー (別売品) を接続したときは「ドライブレコーダー」に設定してください。本機対応の ETC 車載器 (市販品) を接続したときは、「ETC」に設定してください。 なし* / ETC / ドライブレコーダー

項目	設定
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンを使用するときに設定します。お使いの車メーカーを選択してください。お使いの車メーカーに合わせたステアリングリモコンキーの割り当てを設定します。ユーザー独自のキーを割り当てたい場合は「ユーザー学習」を選択して「ステアリングリモコン学習」にタッチして割り当てを行ってください。
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの設定で「ユーザー学習」を選んだときはここにタッチしてキーを割り当ててください。

● その他

システムの初期化や暗証番号の登録、セキュリティインジケーターなどの設定ができます。

項目	設定
操作音の出力	操作音の出力をするかしないかを設定します。ON*/OFF
ショートカットボタン登録	ショートカットボタンに機能を登録します。(→ P.13)
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
セキュリティインジケーター	ON/OFF*
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。
設定データの書き出し	設定データの書き出し、読み込みを行います。(→ P.24)
設定データの読み込み	
システムの初期化	タッチするとメッセージが表示されます。[はい]にタッチします。暗証番号設定とSDカードに録音した曲は消去されません。

設定データ保存

本機にSDカードを挿入して、本機の設定をSDカードに保存することができます。保存したデータは読み込むこともできます。保存できる項目については <http://manual.kenwood.com/edition/2016ld/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [情報・設定]にタッチする



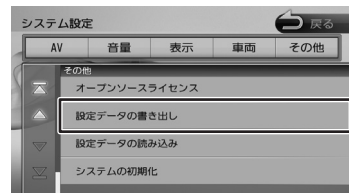
情報・設定画面が表示されます。

3 [システム]にタッチする



システム設定画面が表示されます。

4 「その他」の【設定データの書き出し】にタッチして、[はい]にタッチする



SDカードに保存されると自動で再起動します。書き出したデータを読み込むときは「設定データの読み込み」にタッチします。読み込みが終了すると自動で再起動します。

接続状態を確認する

1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME 画面が表示されます。

2 【情報・設定】にタッチする

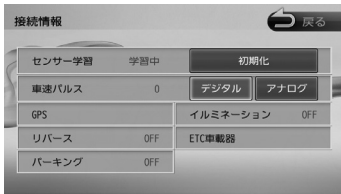


情報・設定画面が表示されます。

3 【接続】にタッチする



接続情報が表示されます。



センサー学習

センサーの学習状態を表示します。
【初期化】にタッチすると、センサーの学習を初期化します。

車速パルス

車速パルスの値を表示します。
【デジタル】または【アナログ】にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。

GPS

GPS アンテナの接続状態を表示します。
正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。

リバース

リバース検出コードの接続状態を表示します。

パーキング

パーキング検出コードの接続状態を表示します。

イルミネーション

イルミネーションコードの接続状態を表示します。

ETC 車載器

ETC 車載器 (市販品) の接続状態を表示します。



- 本機に対応している ETC 車載器は株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 です。本機と接続するケーブルは、ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル KNA-300EX (別売品) です。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自転車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習の初期化を行ってください。

センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自転車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

AV 操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 【ソース切替】にタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 3 切り替えたいソースにタッチする



選択したソースの AV 画面に切り替わります。

iPod

iPod の曲 / ビデオファイルを再生します。
(→ P.27)

USB

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.28)

SD

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.28)

BT AUDIO

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.28)

地デジ

地デジを受信します。(→ P.29)

TUNER

ラジオ放送を受信します。(→ P.29)

DISC

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。
(→ P.31)

STANDBY

ソースをすべてオフにします。

AV 画面を表示する

HOME 画面を表示して【AV】にタッチすると選択しているソースの AV 画面を表示します。



映像画面の操作

ビデオファイルや映像が表示されているときに、操作ボタンを画面に表示させます。

- 1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。



【非表示】にタッチするとボタンが消えます。

iPod

iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続です。

iPod の接続ケーブルについて

本機の USB 端子に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

■ Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル

音楽を聴く場合：

KCA-iP102 (別売品)

音楽を聴く / ビデオを見る場合：

KCA-iP212 (別売品) と市販の変換プラグ
が必要です。



- ドライブレコーダー (別売品) を接続しているときは KCA-iP212 (別売品) は接続できません。
- KCA-iP212 (別売品) を接続するときは「システム設定」→「EXP コネクタ接続」が「なし」または「ETC」に設定されている必要があります。
(→ P.39)

■ Lightning™ コネクタモデル

接続ケーブル：

KCA-iP103 (別売品)

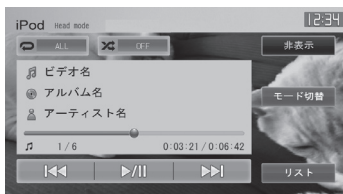
Lightning™ コネクタモデル (iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generation) は、音楽再生対応のみです。

Bluetooth 接続をする場合は、設定 (「システム」→「AV」→「iPhone との接続方法」) が必要です。(→ P.23) また、本機への登録 (ペアリング)、接続については 34 ページ、36 ページをご覧ください。



- iPod ソースで Bluetooth 接続ができる iPod/iPhone は、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s、iPhone 4、iPod touch 5th generation です。
- Bluetooth 接続は音楽再生のみ対応しています。iPhone 4s、iPhone 4 でビデオを見る場合は USB 接続でご使用ください。「iPhone との接続方法」は「USB」に設定してください。
- システム設定の「AV」-「iPhone との接続方法」設定を変更するときは、USB 接続している機器は取り外し、Bluetooth 接続している機器は、接続を解除してください。(→ P.36)

< 曲 >

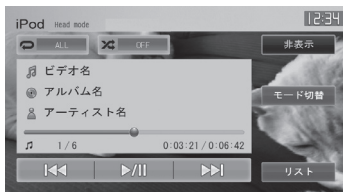


< ビデオ >

- iPod ビデオを再生する

[リスト] にタッチします。

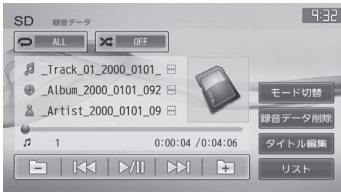
[ビデオ] にタッチしてビデオリストに切り替えて再生したいビデオを選びます。



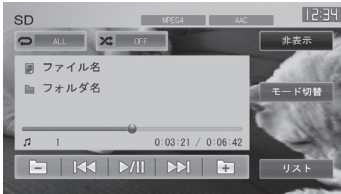
ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL/1
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF/曲 / アルバム順
[モード切替]	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode：本機の画面で iPod の操作ができます。 External mode：iOS アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次の曲を選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。
[非表示]	ビデオ 操作ボタンを消します。

USB/SD

<オーディオファイル>



<ビデオファイル>



ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL/1/フォルダ
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF/フォルダ
[リスト]	再生リストを表示します。
[モード切替] (SDソースのみ)	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生 / 本機で録音したデータファイルの再生）を切り替えます。切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。
[録音データ 削除]	録音データ 本機で SD に録音したデータを削除します。
[タイトル編 集]	録音データ 本機で SD に録音したデータのタイトルを編集します。
/ 	前 / 次のフォルダを選択します。
/ 	前 / 次のファイルを選択します。
	再生 / 一時停止（ポーズ）します。

BT AUDIO



BT AUDIO ソースを再生する前に、本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）してください。登録方法は、34 ページをご覧ください。

ボタン	説明
[デバイス切替]	接続する Bluetooth 機器を切り替えます。
	再生します。
	一時停止（ポーズ）をします。
/ 	前または次のファイルを再生します。（スキップ） タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法（スキップ操作やランダム再生モード切替など）を操作できない場合があります。

TUNER



ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア／お気に入り 1／お気に入り 2）が切り替わります。
[FM] / [AM]	受信するバンドを切り替えます。
[交通情報]	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
[<] / [>]	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します。（マニュアル選局）タッチし続けるとタッチしている間、周波数が連続して変わります。
[⏪] / [⏩]	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。（オート選局）もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
[リスト]	プリセットモードがエリアのときに、プリセットされている放送局をリスト表示します。

地デジ

miniB-CASカードの入れ方は10ページをご覧ください。



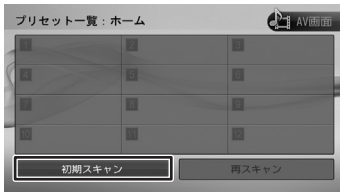
ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（ホーム／お出かけ／エリア）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめでご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声／二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[非表示]	操作ボタンが消えます。
[1] ~ [12] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
[⏪] / [⏩]	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
[地デジ設定]	地デジの設定画面を表示します。（⇒ P.30）

[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定：1Seg ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定：12Seg 12セグ固定モードに切り替えます。 自動切替： 自動受信モード（ワンセグまたは12セグ）に切り替えます。
[番組表]	番組表を表示します。 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは「データ収集」にタッチしてデータを取得してください。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。

■ ホームとお出かけに放送局をプリセットする

[プリセット切替] にタッチして「ホーム」または「お出かけ」に切り替えます。
[プリセット一覧] にタッチします。

▼
[初期スキャン] にタッチします。



受信したい地域にタッチして [はい] にタッチします。受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

■ 地デジの設定をする

項目	説明
1Seg/12Seg自動切替設定	受信モードを [自動切替] に設定している場合に、優先させる内容を設定します。 標準*/12Seg を優先 / 12Seg を最優先 / 切替頻度低減を優先 / 切替頻度低減を最優先
中継局 / 系列局サーチ	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。 切替しない / 自動切替 (中継局) / 自動切替 (中継局+系列局) *
文字スーパー	表示する文字スーパーを設定します。 表示しない / 第一言語 * / 第二言語
お知らせメッセージ	放送局からのお知らせメッセージ (メール) を表示します。メッセージタイトルにタッチすると、詳細内容を確認できます。
B-CAS カード ID	miniB-CAS カードの情報を表示します。
B-CAS カードテスト	miniB-CAS カードを抜き差ししたときは B-CAS カードテストを行ってください。テストが完了すると結果が表示されます。

DISC

<DVD>



ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 DVD ビデオ ALL/ チャプター / タイトル DVD-VR ALL/ チャプター / プログラム
[音声切替] / [字幕切替]	音声 / 字幕の言語が切り替わります。
[アングル]	DVD ビデオ アングルが切り替わります。
[非表示]	操作ボタンを消します。
[DVD 設定]	DVD 設定画面を表示します。
	DVD ビデオ カーソルを表示します。
[トップメニュー] / [メニュー]	DVD ビデオ ディスクのメニュー / トップメニューを表示します。
[プログラムリスト] / [プレイリスト]	DVD-VR プログラムリスト / プレイリストを表示します。
/	前 / 次のチャプターを選択します。
	再生を停止します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

<音楽 CD>



<オーディオファイルディスク>



ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 音楽 CD ALL/1 オーディオファイルディスク ALL/1/ フォルダ
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 音楽 CD OFF/ALL オーディオファイルディスク OFF/ フォルダ
[録音]	音楽 CD 音楽 CD を SD カードに録音します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	オーディオファイルディスク 前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次の曲を選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

音楽CDをSDカードに録音する

再生中の音楽CDをSDカードに録音します。

- 録音中は地デジ、SDソースは選択できません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名：“Track” + Track番号 + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）
 - アルバム名：“Album” + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）
 - アーティスト名：“Artist” + 年（西暦） + 月日 + 時刻（24時間制）

なお、年、月日、時刻は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時点のものです。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SDカード（1GBの場合）：
 - 標準音質 … 約250曲
 - 高音質 … 約125曲

■ 録音可能アルバム数について

最大999枚録音できます。

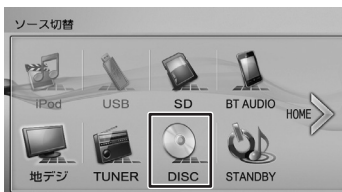
1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME画面が表示されます。

2 【ソース切替】にタッチする

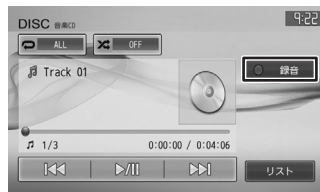


3 【DISC】にタッチする



CDの再生が始まり、DISC画面が表示されます。

4 【録音】にタッチする



CD録音画面が表示されます。

5 録音する曲にタッチする



【全て選択】 / 【全て解除】：

録音する曲の選択を、全て選択・解除できます。

6 【録音開始】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

7 【はい】にタッチする

録音が始まります。



【録音停止】：

録音を中止します。

すべての録音が終了すると、【録音モード終了】が表示されます。【録音モード終了】にタッチして【はい】にタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。

録音データを再生するには、ソースをSDにします。(→ P.26)

録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を編集します。



- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名それぞれ 128 文字です。
- 文字の入力方法については 20 ページをご覧ください。

1 フロントパネルの [HOME] を押す

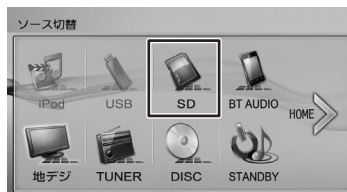
HOME 画面が表示されます。

2 [ソース切替] にタッチする

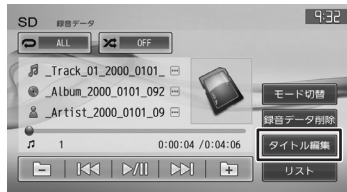


ソース切替画面が表示されます。

3 [SD] にタッチする



4 [タイトル編集] にタッチする



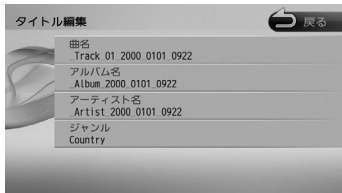
5 編集する曲にタッチする



[タイトル消去]：

リストに表示されている全ての曲（アルバム内全曲）のタイトルを消去します。タッチすると確認メッセージが表示され [はい] にタッチします。

6 編集する項目にタッチする



曲名：

文字入力の画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力の画面が表示されます。

変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力の画面が表示されます。

編集すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：

編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：

編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。

選択すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：

選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：

編集している曲のみに反映されます。

Bluetooth 機器を使う

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



- Bluetooth 機器は 5 台まで登録できません。
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、50 ページをご覧ください。
- 本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときは、他の Bluetooth 機器が接続されていないときに行ってください。Bluetooth 機器が接続されているときは、接続を解除してから行ってください。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- iPod ソース中（「iPhone との接続方法」設定が「Bluetooth」のとき）に電話帳を登録すると、iPod の接続が一時的に切断されます。
- 電話帳登録中に画面を地図画面や HOME 画面に切り替えたり、ソースを切り替えたりすると、電話帳登録を中断します。中断した場合は、電話帳を登録しなおしてください。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

本機は Bluetooth Ver.2.1+EDR のセキュアシンプルペアリングに対応しています。

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で“MDV-D503W”、または“MDV-D503”を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

Bluetooth 機器側で PIN コードまたは入力画面が表示された場合

35 ページの「A」に進みます。



パスキーを確認する画面が表示された場合

35 ページの「B」に進みます。



A 表示された本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する



初期設定は「0000」に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するとき、この画面が表示されていないことがあります。

その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。(→ P.23)

▼
A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか?」と表示されます。

【はい】:

ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

【いいえ】:

ハンズフリー接続のみとなります。

▼
PBAP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか?」と表示されます。

【はい】:

電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

【いいえ】:

電話帳の登録はしません。

▼
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

B デバイス名とパスキーを確認し、【はい】にタッチする



Bluetooth 機器の登録が始まります。Bluetooth 機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録が始まるものがあります。

▼
A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか?」と表示されます。

【はい】:

ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

【いいえ】:

ハンズフリー接続のみとなります。

▼
PBAP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか?」と表示されます。

【はい】:

電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

【いいえ】:

電話帳の登録はしません。

▼
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳登録中に [終了] にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで [いいえ] にタッチしても後から登録できます。

登録した機器を接続 / 解除する

Bluetooth 機器を接続する

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す
HOME 画面が表示されます。
- 2 [情報・設定] にタッチする



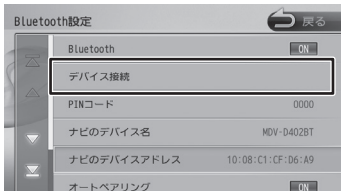
情報・設定画面が表示されます。

- 3 [Bluetooth] にタッチする

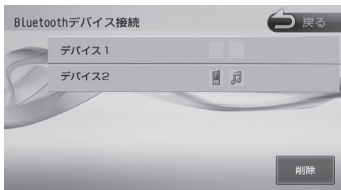


Bluetooth 設定画面が表示されます。

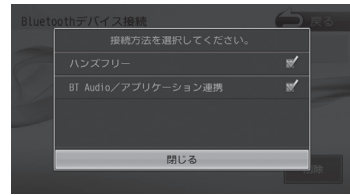
- 4 [デバイス接続] にタッチする



- 5 接続する Bluetooth 機器にタッチする



- 6 接続する種別にタッチする



ハンズフリー：

ハンズフリー電話を使用します。

BT Audio/ アプリケーション連携：

BT AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを Bluetooth 接続で使用します。

接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

：ハンズフリー接続

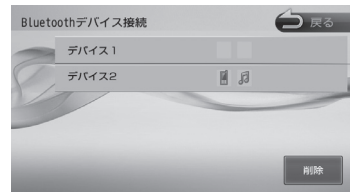
：BT Audio/ アプリケーション連携接続



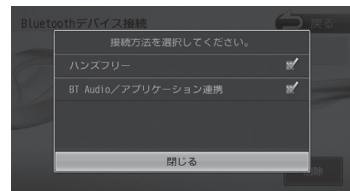
- Bluetooth 機器を複数登録している場合、ハンズフリー、BT Audio/ アプリケーション連携接続はそれぞれ 1 台まで設定できます。接続する機器を切り替えたい場合は接続したい機器の接続種別を選び直してください。

Bluetooth 機器の接続を解除する

- 1 「Bluetooth 機器を接続する」の
手順 5 の画面で解除したい
Bluetooth 機器にタッチする



- 2 チェックマークにタッチする



チェックマークがすべて外れていれば、接続を解除することになります。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話画面

ハンズフリーを使うときは電話画面から操作します。

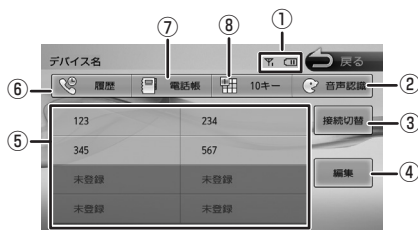
1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 【電話】にタッチする



電話画面が表示されます。



① 電波受信状態 / バッテリー残量

接続した Bluetooth 機器の電波受信状態とバッテリーの残量が表示されます。

② 【音声認識】

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

③ 【接続切替】

Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
(→ P.36)

④ 【編集】

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。登録したいプリセットボタンにタッチして、電話帳または 10 キーで入力して電話番号を登録します。

⑤ プリセットダイヤル

プリセットに登録された番号に発信します。

⑥ 【履歴】

PBAP 対応機器の場合は、発信、着信、不在着信履歴から電話をかけることができます。

⑦ 【電話帳】

電話帳を表示します。ここから電話をかけることもできます。

⑧ 【10 キー】

電話番号を入力して電話をかけます。

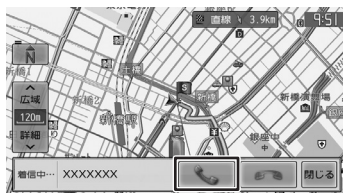


- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。

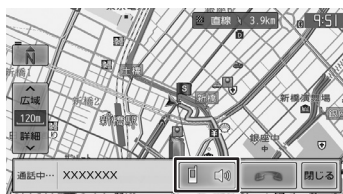
ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 電話機アイコンにタッチする



着信中に「閉じる」にタッチすると着信を拒否します。



通話中に「閉じる」にタッチするとプライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。



- 「閉じる」にタッチすると着信画面を消すことができます。もう一度表示させるには画面右上に「着信中…」または「通話中…」が表示されているときにタッチすると表示されます。

2 通話が終わったら、電話機アイコンにタッチする

画質を調整する

SD、USB、iPod のビデオファイル、地デジ、DVD、リアビューカメラの映像を調整します。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押しつづける
画面コントロールメニューが表示されます。
- 2 設定したい項目の ◀ または ▶ にタッチして調整する



アスペクトは以下のように設定できます。

SD/USB :

レギュラー、フル、オリジナル

iPod :

レギュラー、フル

DVD :

レギュラー、フル、オート



- SD、USB ソースが一時停止中のときは設定できません。
- 地デジ、リアビューカメラ映像はアスペクトの設定はできません。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> をご覧ください。

地図を更新する

地図更新については、同梱の「地図更新のお知らせ」をお読みください。

■ オービスデータについて

オービスデータは、SD カード版またはデータダウンロード版をお得に購入することができます。

購入については当社ホームページ

http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/orbis/ をご覧ください。

ドライブレコーダーを使う

本機対応のドライブレコーダー KNA-DR500 (別売品) を接続すると、録画したデータの再生や手動録画などを本機から操作することができます。操作についてはドライブレコーダの取扱説明書をご覧ください。



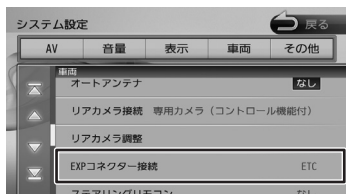
- ・ドライブレコーダー (別売品) を接続したときは、ETC 車載器 (市販品)、または iPod 接続ケーブル KCA-iP212 (別売品) を接続することはできません。

ドライブレコーダーの接続設定をする

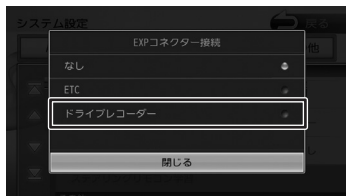
- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [システム] にタッチする



- 3 「車両」の [EXP コネクター接続] にタッチする



- 4 [ドライブレコーダー] にタッチする



ドライブレコーダーの映像を表示する

- 1 [HOME] を押し続ける
画面コントロールメニューが表示されます。
- 2 [ドライブレコーダー] にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ETC を使う

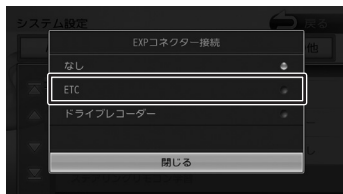
本機は、市販品の株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 を接続することができます。接続するときは KNA-300EX (ETC/ステアリングリモコン接続ケーブル) が必要です。本機では、ETC の音声出力、ETC 料金表示の設定ができます。(→ P.21)



- ・ETC 車載器 (市販品) を本機に接続したときは、ドライブレコーダー (別売品) を接続することはできません。

ETC の接続設定をする

- 1 左記の「ドライブレコーダーの接続設定をする」の手順 4 の画面を表示する
- 2 [ETC] にタッチする



リアビューカメラを使う

リアビューカメラ設定

リアビューカメラを接続したときは、設定を行う必要があります。



- 本機に接続できるリアビューカメラは別売の CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230 です。

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

2 【情報・設定】にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

3 【システム】にタッチする

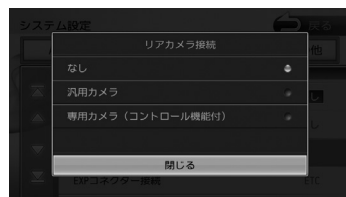


システム設定画面が表示されます。

4 「車両」の【リアカメラ接続】にタッチする



5 接続するカメラの種類にタッチする



【なし】:

リアビューカメラを接続しないときに選択します。

【汎用カメラ】:

別売の CMOS-230W、CMOS-230、または市販のカメラを接続しているときに選択します。

【専用カメラ (コントロール機能付)】:

CMOS-320 を接続しているときに選択します。



- 【専用カメラ (コントロール機能付)】に設定した場合は、手順 4 の画面で【リアカメラ調整】にタッチしてカメラの設定を行ってください。
- 【汎用カメラ】に設定した場合は、手順 4 で【リアカメラ調整】にタッチするとガイド線の調整ができるようになります。

リアビューカメラを表示する

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度 (徐行) でご使用ください。
- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1 シフトレバーを“R” (リバース) にする



リアビューカメラの映像が表示されます。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



[非表示] :

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

[ビュー] :

リアビューカメラの視点を切り替えます。
(CMOS-320 接続時のみ)

[ガイド線] :

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。
もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

[上位置] / [下位置] :

警告文の位置表示を変更します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。



- リアビューカメラ映像の画質は調整することができます。(→ P.38)

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブルは、27 ページをご覧ください。
- ステアリングリモコン接続ケーブル
KNA-300EX (ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル)
車両の対応については、当社ホームページ http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/ をご覧ください。
- リアビューカメラ
ケンウッド専用マルチビューリアカメラ
CMOS-320
スタンダードリアビューカメラ
CMOS-230W/CMOS-230
- ETC 車載器
接続ケーブル
KNA-300EX (ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル)
ETC 車載器は市販品の株式会社デンソー製
ETC 車載器 DIU-5310 をご購入ください。
- ドライブレコーダー
KNA-DR500
- MDV-D503W のみ
トヨタ専用ワイヤリングキット
KNA-200WT
日産専用ワイヤリングキット
KNA-200WN

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるオーディオ/ビデオファイルの詳細は <http://manual.kenwood.com/edition/2016id/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、 スーパー ビデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
CCCD	×	—	
その他	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660/Joliet/UDF

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2：この他のファイルシステム（NTFS 等）には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0 (High Speed) *1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32*3

*1：USB3.0 には対応していません。

*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3：この他のファイルシステム（NTFS、exFAT 等）には対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

		メディア	CD	DVD	USB	SD
オーディオ ファイル	MP3	○	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○	○
	FLAC	×	×	○	○	○
	Vorbis	×	×	○	○	○
ビデオ ファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○	○
	WMV	×	×	○	○	○

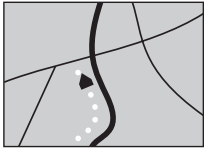
○：再生できます ×：再生できません。

自車位置の測位精度について

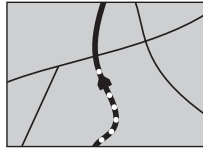
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができなくなります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群衆地帯
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができなくなります。
- 3) 3基以下のGPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さ

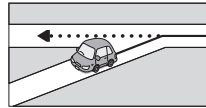
あるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

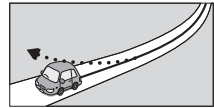
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合



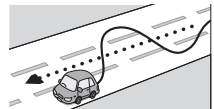
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



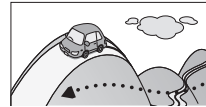
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



蛇行運転をした場合



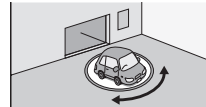
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



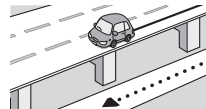
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



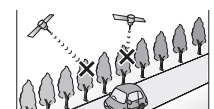
ヘアピンカーブが続いた場合



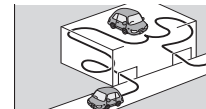
高速道路と側道などが隣接している場合



GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



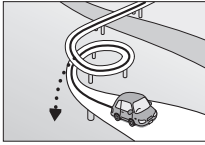
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



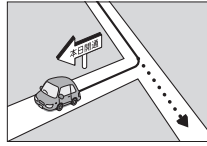
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



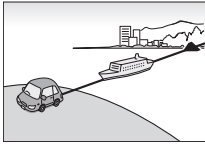
ループ橋などを走行した場合



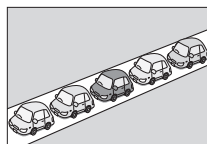
地図データにはない、新設道路を走行した場合



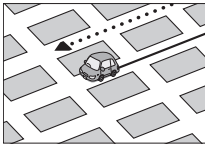
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



暮盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

(2015 年 10 月現在、準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図のデータベースについて

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、<http://manual.kenwood.com/edition/2016Id/mdv.html> の「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第 2 条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されません。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であることを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は「情報・設定」－[システム]－その他内の[オープンソースライセンス]です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS の仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル 1）、簡易図形情報（レベル 2）の情報表示について

<問い合わせ先>

VICS センター 運用管理室

電話受付時間

9:30 ~ 17:45（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号（全国） 03-3562-1719

- VICS 関連商品の機能や使用方法について

- サービスエリア内の受信可否について

- 地図表示（レベル 3）の情報表示について

<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87

（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114

（携帯電話、PHS からはナビダイヤル）

045-450-8950

（一部 IP 電話など）

FAX 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市

神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30 ~ 18:00

土曜 9:30 ~ 12:00、

13:00 ~ 17:30

（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- VICS の最新情報について

VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通

状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

（約款の適用）

- 第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

- 第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

- 第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

- 第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (7th generation)*
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod classic
- iPod touch (5th generation)*
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 6 Plus*
- iPhone 6*
- iPhone 5s*
- iPhone 5c*
- iPhone 5*
- iPhone 4s
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

* : 音楽再生のみに対応

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応 iPod を区別する場合には「iPod ビデオ」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- OPP (オブジェクトプッシュプロファイル)
電話番号などのデータを 1 件ずつ vCard 形式で伝送するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1+EDR 準拠

* SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)

対応コーデック

SBC、AAC



- 動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。
<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアカメラ接続設定が“なし”になっている。	接続しているカメラを確認してリアカメラ接続設定を行ってください。(→ P.40)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.22)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

メッセージ	対処
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスに異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いかわ周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。
ETC カードが読めません。ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、専用カメラとの接続を確認してください。 接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および専用カメラのカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ/ビデオファイルかどうかを確認してください。
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できないビデオファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読みません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または2を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 /ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクト(フロントパネルの【▲】(オープンキー)をメッセージが表示するまで押して【はい】にタッチする。)を実行してください。または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きいSDカードを使用してください。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件（1 件最大 5 番号まで）までです。不要な電話帳の登録を削除してください。

商標

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、 「Windows」、 「Windows NT」、 「Windows Media」 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

まっがるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。



MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS、VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェアの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

ETC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2012-2014 All Rights Reserved.

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2015 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalsoun

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,

OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重 (内蔵) /VICS-WIDE 対応

● モニター部

画面サイズ (幅×高さ×対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーイン ピーダンス	4～8Ω
リアビューカメラ専用 映像入力	端子:専用端子7ピンコネクタ×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
ドライブレコー ダー/iPod Video 映像入力	端子:RCA×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
ビデオ出力	端子:RCA×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13～52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD±R/±RW/ ±R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング 周波数	32kHz/44.1kHz/ 48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)
S/N 比	96dB
ダイナミックレンジ	94dB
ステレオセパレー ション	90dB

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA	8cmCD 非対応
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV
USB/ SD	音声 MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
	映像 MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP,OPP,PBAP,A2DP,AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC,AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60°C
本体	外形寸法 (幅×高さ×奥行) : MDV-D503W 206mm×104mm×174mm MDV-D503 180mm × 100mm × 182mm
	埋込寸法 (幅×高さ×奥行) : 178mm × 100mm × 159mm
	質量 (重さ) : MDV-D503W 2,520 g MDV-D503 2,540 g
GPS アンテナ	外形寸法 : 36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長 : 3.5m
	質量 (重さ) : 85g

● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	117.5mm × 86mm
重量 (重さ) (ケーブル含む)	約 40g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		スキー		その他学校		SA
	都道府県庁舎		キャンプ		保健所		PA
	市特別区庁舎		遊園地		税務署		JCT
	町村指定都市区庁舎		動物園		発電所		IC/JCT (併設)
	官庁公共施設		公園		裁判所		IC/SA (併設)
	警察		ホテル		灯台		IC/PA (併設)
	消防		スタジアム		ホール		SA/JCT (併設)
	学校		スポーツ施設		スマートIC		PA/JCT (併設)
	郵便局		植物園		その他の目的物		料金所
	病院		美術館		NTT		スマートIC
	デパート/スーパー		博物館		サッカー		ガソリンスタンド
	カー用品店		水族館		テニスコート		レストラン
	IC		図書館		ディスカウントストア		スナック
	SA		テーマパーク		ビリヤード名称		ショッピング
	PA		城・天守閣		道の駅		ハイウェイオアシス
	パーキング		展望タワー		ヘリポート		インフォメーション
	工場		温泉		乗馬		休憩所
	飛行場		山頂		体育館		ハイウェイ情報ターミナル
	フェリー		自衛隊		牧場		ベビーコーナー
	港		墓地		ホール		ドッグラン
	料金所		ボウリング場		自動車学校		障害者用トイレ
	マリーナ		サッカー		トンネル		ATM
	史跡名勝		競馬場ウインズ		船着場(観光船等)		トイレ
	城跡		大学		野球場		
	神社		短大		展望台		
	寺院		高専				
	教会		高校				
	海水浴場		中学校				
	ゴルフ場		小学校				
					サービスエリア (SA)		
					パーキングエリア (PA)		
					IC		
					スマートIC		



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）
045-450-8950（一部IP電話など）
受付時間などは裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(⇒ P.51)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。